

単位互換コア科目における下位指標と評価方法の例

単位互換コア科目を例に、下位指標と評価方法のイメージを以下に示す。ここで示した下位指標や評価方法については、地域高度人材指標との連関を維持しつつ、各大学学部学科の教育目標に応じて設定する。

科目名称	地域の課題Ⅰ		
人材指標	持続的挑戦	ネットワーク分析	ネットワーク構築
下位指標	■ メタ学習 地域企業の現状を自分自身の専門分野の視点から記述する。	■ フレームワーク 地域企業の現状を、適切なフレームワークをもとに分析する。	■ 多様性の受容 多様な視点と価値観を受け入れ、地域企業の現状分析に適用する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業内でのディスカッションを踏まえたミニッツペーパー 期末レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内でのディスカッションを踏まえたミニッツペーパー 期末レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内でのディスカッションを踏まえたミニッツペーパー 期末レポート

科目名称	地域の課題Ⅱ		
人材指標	持続的挑戦	ネットワーク分析	ネットワーク構築
下位指標	■ 戦略的計画 地域企業の課題に対して、自らが実行しうるプロジェクトを設計する。	■ 価値判断 地域企業に対して、顧客、社会、社内の環境や関係性を踏まえた判断をもとに適切なビジョンを構築する。	■ 信頼関係の構築 地域企業との間に、その現状、将来像、問題点を適切に聞き出せる関係性を構築する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 期末レポート(地域課題演習において取り組むプロジェクトの設計書) 	<ul style="list-style-type: none"> 期末レポート(地域課題演習において取り組むプロジェクトの設計書) 	<ul style="list-style-type: none"> 企業ヒアリングシート 授業内でのディスカッションを踏まえたミニッツペーパー

科目名称	地域課題演習		
人材指標	持続的挑戦	ネットワーク分析	ネットワーク構築
下位指標	■ 目標達成 適切な仮説検証を繰り返し、実習における成果目標を達成する。	■ 意思決定 実習における成果目標達成のために、与えられた情報から蓋然性の高い判断をする。	■ 他者との協働 実習における成果目標を社内外の関係者と共有し、適切な役割分担のもと、自発的に活動する。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 日報による仮説検証プロセス 事業成果 	<ul style="list-style-type: none"> 日報による仮説検証プロセス 事業成果 	<ul style="list-style-type: none"> 日報による協働プロセス 事業成果

以上